



博物館の入り口になっている旧樺戸集治監本庁舎（月形町）

# 道経連会報 No.260 CONTENTS

巻頭言	1
視点	2
復興イベント	6
常任理事会レポート	25
経済施策説明	26
特集1 スマート農業	37
特集2 IR（統合型リゾート） に関する調査研究報告書	52
特集3 民族共生象徴空間	58
道経連講演会	63
委員会等の動き	72
働き方改革を推進する企業	73
会員企業紹介	76
会員の異動	80
道経連カレンダー	80
新会員企業紹介	81
グループ活動報告	83
人事・労務相談日	93
北海道の経済動向	94
会報誌読者様へのお願い	96
わがまち紹介（シリーズ30）	97



北海道経済連合会 常任理事  
**坪内 恒治**  
NTTドコモ執行役員 北海道支社長

## 「通信を確保し次世代サービスへ」

### 1. はじめに

私は初めての北海道勤務として2年前に着任しました。まず地場を良く知ろうと道内各地のドコモショップ全142カ所を巡り、休日は各地のイベントや名所で歴史にも触れ、夏はゴルフ冬はスキーと動き回り、おかげさまで勢いのまま北海道観光マスター検定にも合格できましたので未永く北海道のPRに努めて行きたいと思います。

本稿では昨年と今年の大きな出来事として、胆振東部地震の際のドコモの状況と、今後登場する第5世代携帯電話サービス「5G（ファイブジー）」のお話をさせていただきます。

### 2. 胆振東部地震

胆振東部地震で被災された方々に改めてお見舞いを申し上げます。2018年9月6日午前3時7分、厚真地方を震源とした北海道では前例の無い震度7の激震が発生しました。モバイル通信インフラを休みなく提供し続けることがドコモの使命です。私も信号の消えた街を見ながら自家発電機を備えたドコモビルの災害対策室に駆け付けました。オペレーションルームの大型ディスプレイに表示されていたのは、全道の基地局から通知されたおびただしい数の赤色アラームです。ネットワークが受けた損壊への対応と、広域で起きている停電への対応の両方が既に始まっていました。

地震で基地局が倒壊した厚真町他には移動基地局車が出動しました。現地では光ファイバケーブル等も損壊していましたが、この車



写真1  
厚真町に設置した基地局車